

コレクション展

2階 展示室1

約3か月に1度の展示替えで、自慢のコレクションを多彩に展示。
常に新鮮な出会いが楽しめます。

3階 展示室5

デザイン・コレクション

ポスターと椅子を中心としたデザインコレクション。
デザイン史に残る名作椅子が並び、実際に座ることのできるコーナーも。
ポスターは、展示とともにタッチパネルで好きな作品を大きく表示。
大型ディスプレイでも自由楽しめます。

3階 展示室6

瀧口修造コレクション

シモン・ゴールドベルク&山根美代子コレクション

富山県出身の美術評論家・瀧口修造と、世界的な音楽家シモン・ゴールドベルク&山根美代子コレクション。
瀧口の部屋には、ミロやデュシャンなど親交を結んだ作家たちから贈られた作品などが並びます。また、富山を愛し晩年を過ごした天才ヴァイオリニスト、ゴールドベルクが生前に集めた20世紀の優品を展示します。



パブロ・ピカソ《闘牛場の入口》1900年
©2021-Succession Pablo Picasso – BCF(JAPAN)



アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《マンジの肖像》1901年



撮影：大辻清司《書斎の瀧口修造夫妻》
1975年



ヘリット・トマス・リートフェルト（製造1990年代）
《レッド・アンド・ブルー》1918-23年

※記載内容は都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。



Toyama Prefectural Museum of Art & Design

開館時間・休館日

	利用時間	休館日	料金
美術館	9:30-18:00	・毎週水曜日（祝日除く） ・祝日の翌日 ・年末年始	・コレクション展：一般300円（240円） ※（ ）内は20人以上の団体料金 ・企画展：展覧会により異なります。 ・企画展観覧料でコレクション展もご覧いただけます。
オノマトベの屋上	8:00-22:00	12月1日-3月15日	
駐車場	8:00-22:30		最初の1時間330円 以降30分毎に110円加算。 ※美術館利用の方、2時間無料（詳細下記）

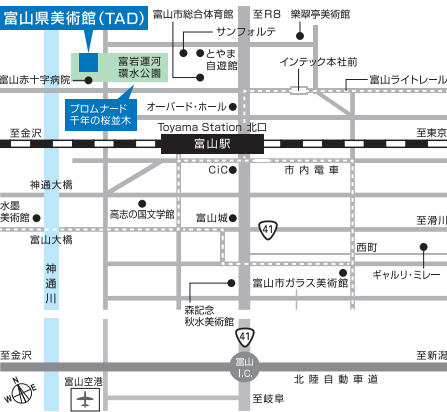
※メンテナンスや展示替え作業等のため臨時休館する場合があります。
※季節やイベント等に応じて、臨時開館や延長開館する場合があります。

次の方は、コレクション展・企画展ともに観覧無料

- 1）児童、生徒（小・中学生、高校生など）
 - 2）学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者（観覧料免除申込書が必要です）
 - 3）各種手帳をお持ちの障がい者の方の観覧（付き添いは手帳をお持ちの方1人につき1名まで無料）
- ・大学生と70歳以上の方は、コレクション展が観覧無料（大学生の対象は、大学、大学院、短期大学、高等専門学校（4学年以上）、専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程の19歳以上）、通信制大学、放送大学です）
- ・美術館および環水公園利用の方は、駐車場が2時間無料事前精算機をご利用ください。
- ・詳しくは富山県美術館ホームページでご確認いただくか、美術館へお問い合わせください。
- ・ご来館の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。

アクセス

- 富山駅北口から
徒歩約15分 / タクシー約3分
バス：1番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港より・・・タクシー：約20分（約9km）
- 北陸自動車道より・・・自動車：約15分（富山I.C.から国道41号経由）



富山県美術館（TAD） TAD：Toyama Prefectural Museum of Art and Design
※Toyama Art Designの頭文字をとり、TADと略称しています。
〒930-0806 富山県富山市木場町3-20（富岩運河環水公園内）
TEL：076-431-2711 FAX：076-431-2712 https://tad-toyama.jp/

2021▶2022

富山県美術館

展覧会スケジュール

Schedule

2021.4▶2022.3

SCHEDULE

企画展

コレクション展

※記載内容は都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

2F 展示室4	① -4/4	テューリブテビ 開館30周年記念 ポーラ美術館 コレクション展 —印象派から エコール・ド・パリ— 4/24-6/27	コレクション展Ⅰ期 5/20-8/3	コレクション展Ⅱ期 8/6-11/9	コレクション展Ⅲ期 11/11-1/18	コレクション展Ⅳ期 1/20-
展示室3	② -4/4					
展示室2						
展示室1						

①やさしい日本画 — なぜ？を見つける5つのヒント ②国際工芸アワードとやま2020

絵本原画
ニヤー！
猫が歩く
絵本の世界

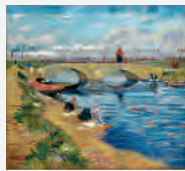
3/19-
5/15
越川実花展

チューリップテレビ開局30周年記念
ポーラ美術館コレクション展―印象派からエコール・ド・パリ―
2021年4月24日(土) – 6月27日(日)



ピエール・オーギュスト・ルノワール《レースの帽子の少女》1891年 ポーラ美術館蔵

2002年箱根・仙石原に開館したポーラ美術館の西洋絵画コレクションは、西洋の近代美術の展開を体系的にたどることのできる、国内でも屈指のものとなっています。本展覧会は「印象派からエコール・ド・パリ」と題し、ポーラ美術館収蔵作品からモネやルノワールの印象派、セザンヌ・ゴッホなどのポスト印象派、マティスやピカソといった20世紀を代表する画家や、ユトリロやシャガールらエコール・ド・パリに至るまで、フランスで活躍した作家による74点の絵画と、当時のフランスの流行やファッションが反映されている12件の化粧道具を展示します。画家たちを魅了してやまないフランスという地で、時代や様式を超えて受け継がれる美意識を、ぜひ会場でお楽しみください。

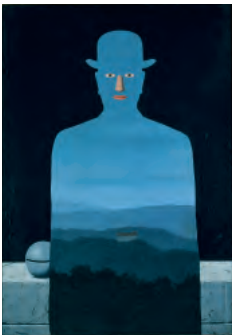


フィンセント・ファン・ゴッホ《ヴィゲラ運河にかかるグレース橋》1888年 ポーラ美術館蔵

- 一般 1,400 (1,200) 円
- 大学生 1,000 (800) 円
- 一般前売り 1,200 円
- ※ () 内は20名以上の団体料金

トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション
2021年11月20日(土) – 2022年1月16日(日)

本展は、横浜美術館、愛知県美術館、富山県美術館の3つの公立美術館の「トライアローグ」(3者による話し合い・鼎談)により、それぞれのコレクションを組み合わせ、20世紀西洋美術の歴史を振り返るものです。ピカソ、クレー、ミロ、エルンスト、ダリ、マグリット、ポロック、ベーコン、リヒターなど、20世紀美術史を彩った巨匠たちの作品を厳選し、絵画を中心に約120点をご紹介します。3館のコレクションの競演を通じて、日本の美術館の西洋絵画収集の足跡とその豊かな資産を再確認する機会となるでしょう。



- 一般 900 (700) 円
- 大学生 450 (350) 円
- 一般前売り 700 円
- ※ () 内は20名以上の団体料金

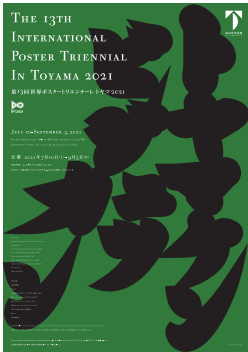
左 ルネ・マグリット《王様の美術館》1966年 横浜美術館蔵
右 ジョージ・シーガル《ロバート&エセル・スカルの肖像》1965年 愛知県美術館蔵
© The George and Helen Segal Foundation/
VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2021 E4075

第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021
2021年7月10日(土) – 9月5日(日)

この展覧会は、世界のポスターデザインの現況と成果を概観するため、作品を国際的に公募・選抜して展示公開する、日本で唯一の国際公募によるポスター展です。トリエンナーレ(3年に一度開催)として今回で第13回を迎える歴史を重ね、「IPT」の愛称で知られる世界屈指のポスター展に数えられるまでに成長しました。今回のIPTにおいても、国内外で活躍するグラフィックデザイナー等を審査員に迎えて選出された全入選・入賞作品と、実行委員・審査員による招待出品などを一堂に展示します。世界の今を映し出すポスターを通して、最新のグラフィックデザインを紹介します。



- 一般 1,100 (850) 円
- 大学生 550 (420) 円
- 一般前売り 850 円
- ※ () 内は20名以上の団体料金



第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021 開催ポスター
Designed by Ken Miki

絵本原画ニャー! 猫が歩く絵本の世界
2022年1月29日(土) – 3月6日(日)

絵本にはたくさんの動物が登場します。なかでも猫は人気者です。絵本の猫たちはいろんな形をしています。太い線で描かれたり、細い線で描かれたり、リアルだったり、シンプルだったり、一匹たりとも同じ猫はいません。本展では、絵本作家15組によるユニークな絵本の中の猫たちを紹介します。さまざまな色や形に表現された猫たちを通して「絵」の面白さ、豊かさをお楽しみください。

出品作家(50音順):あきびんご、石黒亜矢子、片岡まみこ、加藤休ミ、きくちちき、きむらよしお、ささめやゆき、瀬川康男、大道あや、にしまさかやこ、馬場のぼる、ハンス・フィッシャー、100%ORANGE、牧野千穂、町田尚子

- 一般 900 (700) 円
- 大学生 450 (350) 円
- 一般前売り 700 円
- ※ () 内は20名以上の団体料金



きくちちき『ちぎばんにゃー』(学研プラス、2014年)



町田尚子『ネコゾメの夜』(WAVE 出版、2016年)

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展
2021年9月18日(土) – 11月7日(日)

東山魁夷(1908-1999)は、静謐で澄み切った叙情性を湛えた風景画で知られる日本画家です。戦後の日本画壇で高く評価され、その作品は今なお根強い人気を誇ります。数々の名作を残した東山が、10年もの歳月を費やして完成させた記念碑的大作が、律宗の総本山、奈良・唐招提寺御影堂の障壁画です。御影堂は唐招提寺を創建した唐の高僧・鑑真和尚の尊像を安置するため1964年に建立されました。その障壁画と尊像を納める厨子の制作を受託した東山は、日本の自然と鑑真和尚の故郷である中国の風景を、5室の障壁画、全68面に描きました。本展では、通常非公開となっているこの障壁画を北陸で初めて公開します。部分的に御影堂を再現して障壁画を展示するほか、日本と中国の各地を歩いて描き留めたスケッチもあわせて展示し、東山魁夷が鑑真和尚に捧げた祈りの美の世界を紹介します。

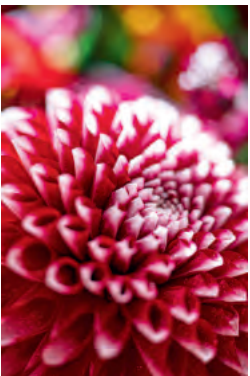


《唐招提寺御影堂障壁画 濤声》(部分) 1975年 唐招提寺蔵

- 一般 1,500 (1,200) 円
- 大学生 1,000 (800) 円
- 一般前売り 1,200 円
- ※ () 内は20名以上の団体料金

富山県美術館開館5周年記念 蜷川実花展
2022年3月19日(土) – 5月15日(日)

現代日本を代表する写真家・映画監督の蜷川実花の北陸最大級の展覧会を開催します。色彩豊かで生命力に満ちた植物をとらえた写真や、被写体となる人物の本質に迫る魅力的なポートレート、ドラマチックな映像作品は、国内外で多くの人を魅了しています。また、写真を重要な表現手段としながらも、ファッション、広告、他のジャンルとのコラボレーションなど、様々な分野へと表現活動を広げ、多岐にわたる活動を精力的に展開しています。本展は、植物や人物の内に宿る生命のリアルや「今」という時代を色鮮やかに映し出した蜷川実花の代表作をご紹介しますとともに、映像作品を新たに発表する特別な機会となります。鋭敏かつしなやかな感覚から生み出された、夢のように美しくも儚く、そして希望に満ちた蜷川実花の世界をどうぞお楽しみください。



蜷川実花《タイトル未定》2020年
写真: ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery.

- 料金未定
- ※ 決定次第、当館ホームページにてお知らせいたします。